



# とやまケンキョーソ特命 多忙解消

# SP

セキュリティーポリス  
No. 27

## 意識改革から始める働き方改革(3)

2021年3月、文部科学省は「全国の学校における働き方改革事例集」を発出しました。そこには、これまでの学校では「当たり前」と思っていた様々な業務にズバッとメスを入れる事例がいくつもあります。

### 文部科学省「働き方改革事例集」より

#### 宿題を自主学習に ⇒ 年間67時間の削減

- ドリルで量をこなす宿題から、子どもが自分にとって課題だと思うことについて、自主学習ノートでとりくむ形にかえた。
  - 夏休みの作文や絵画などは、自由課題として任意でとりくむものとした。
- 【成果】自主学習マニュアルや個別の面談などでサポートし、子どもたちが自分に合った学習のすすめ方を選ぶことができるようになった。教員が主体的な学びについて考えるようになり、保護者も子どもの学びに興味をもつようになった。

#### 定期考査の見直し ⇒ 年間20時間の削減

- 中間考査をなくした。
  - 小テストや日々の授業で行う評価の比重を上げ、定期テストの頻度を減らした。
- 【成果】テスト問題作成や採点、評定算出などに費やされる時間が削減された。普段から細かく生徒の学習状況を確認することで、授業の工夫もすすんだ。

#### 通知表の所見をなくした ⇒ 年間30時間の削減

- PTA総会で「面談と所見の内容が重複するため、1、2学期は面談でお伝えします」と説明。
  - 総合的な学習の時間や道徳は年1回簡潔に記述。
- 【成果】多忙な学期末も普段どおり子どもたちと接することができるようになった。保護者から特に懸念の声はなかった。

「こんな大胆な改革は難しい!」と思われませんか? 実は、この3つに共通することは、どれも「マスト」ではない「ベター」業務であるということと、むしろこちらの方が制度に合った「適正な姿である」ということです。

そもそも家庭学習を行う主体者は保護者であり、学校が踏みこむのは越権です。また、定期考査をここまで時間をかけて厳格に行う背景には、中学校が「高校受験対策機関」になってしまっている現実があります。通知表も学校の任意であり、子どもの成果を伝えるという本来目的に沿えば、口頭で伝えて何ら問題はありませぬ。つまり一見、大胆に感じてしまうこれらの改革は、むしろ、**本来あるべき姿**なのです。



「全国の学校における働き方改革事例集」は、文科省のサイトからダウンロードできます。

# 民間企業の「当たり前」

富山のあるIT企業では、上限を超えそうになると『この仕事はやるな』と上司から命令が出ます。場合によってはプロジェクトから外されます。もし、社内で定めた上限を超えた場合は、管理職が東京本社に呼び出され厳しい指導を受けるそうです。

ある新聞社の部長は「社員を早く帰さなければいけないので、残った仕事は管理職でやらざるを得ない」と嘆いていました。ある金融関係の支店長も「最後は支店長と副支店長で残務処理をしている」ともらしていました。

社員に上限時間を守らせるために、トップが残務を請け負うのは企業では当たり前です。社員を犠牲にする管理職は、管理職として不適切というレッテルを貼られるからです。学校管理職の常識は世間では通用しません。

## 管理職の意識改革も必要

魚津地区教組では、魚津市の校長会に対し、「時間外勤務時間の上限が遵守できていない状態であるにもかかわらず、土日の持ち込み行事を教員に充てるのはやめていただきたい。参加依頼については管理職による対応としていただきたい」という旨の申し入れをしています。

管理職が仕事を増やそうとする場合には、「月 45 時間、年間 360 時間を守れませんがよいですか?」「先生方がだいぶ疲れているようですが、それでもやりますか?」などと質問し、意識改革を促していくことも必要です。

まずは、**校内多忙化解消推進委員会**を開催し、文科省の「**全国の学校における働き方改革事例集**」から事例を選んで、管理職に「わが校でもやりましょう!」と提案してみましよう。

「他の学校でもできたのだからわが校でもできますよ!」  
「文科省も推奨していますよ!」とプッシュしてください。

## 2022年に「トラ」いしたいこと

 <p>委員長・魚津支部担当 <b>能澤 英樹</b> 学校の働き方改革の本を出す。</p>	 <p>書記長 <b>相澤 誠</b> 今度こそ新婚旅行</p>	 <p>書記次長・砺波支部担当 <b>田守 健治</b> ウクレレ1本を持って全国ツアーに。</p>	 <p>富山支部担当執行委員 <b>布瀬 護</b> 家事をいっぱいして五刀流を目指す。</p>	 <p>高岡支部担当執行委員 <b>氷見 三佐子</b> フラダンスで1曲踊り切る!</p>	 <p>特別支援担当執行委員 <b>鈴木 佳世子</b> 英語で日記を書いて英語力UP。</p>
---	---	---	---	---	---

多忙反対! 家庭第一のイクメン教師  
つるぎ  
**剣マモルが行く!**  
二刀流がすごい! ?の巻

